

札幌市産業振興ビジョンに基づく平成 23 年度の取組状況（総括表）

重点分野

■ 北海道の豊富な『食』

★主な事業

- ・6次産業活性化推進補助事業 【経済局(26,000 千円)】
- ・道内連携マッチング事業 【経済局(5,838 千円)】

[その他関連する動き]

- ・「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」の申請に向けた取組
- ・札幌らしい都市型農業の振興に向けた計画の策定に向けた取組

《現状と方向性》

6次産業や食品輸出の支援事業を新たに創出するなど、ビジョンに基づく具体的な新規事業を創設したほか、ものづくり振興、都市型農業のアクションプランの検討も進められている。今後も引き続き、オール北海道体制のもとで、食産業の振興を進めていく必要がある。

■ 魅力的資源を活かした『観光』

★主な事業

- ・MICE 推進事業 【観光文化局(10,660 千円)】
- ・シティ・リゾートウェディング推進事業【観光文化局(6,000 千円)】

[その他関連する動き]

- ・都心の魅力と活力の向上に向けた動き
- ・「観光振興プラン」の策定に向けた取組

《現状と方向性》

地下歩行空間の整備をはじめ都心の魅力アップが進み、新たな賑わいが創出されているが、近年、観光客数は減少傾向にある。今後は、札幌が持つ多種多様かつ上質な魅力資源や交通・宿泊の拠点としての機能を生かし、周辺自治体が持つ自然や温泉などの魅力も活用しながら、札幌ならではの都市型観光を確立させる必要がある。

■ 全社会が一丸となって取り組む『環境』

★主な事業

- ・環境産業推進事業(木質バイオ燃料の普及促進) 【環境局(34,750 千円)】
- ・札幌・サンサンプロジェクト事業 【環境局(520,000 千円)】

[その他関連する動き]

- ・札幌市温暖化対策推進ビジョンの実現に向けた取組
- ・札幌版次世代住宅基準の策定に向けた取組

《現状と方向性》

森林資源の活用や新エネルギー・省エネルギーの普及促進などの視点での産業振興が徐々に進んでいる。今後は、札幌で優位性のある環境産業分野についてのターゲットを明確にし、大都市ならではの札幌の特色を活かした環境産業の振興を図る必要がある。

■ 今後需要が拡大する『健康・福祉』

★主な事業

- ・健康サービス産業推進事業 【経済局(10,200 千円)】
- ・福祉産業共同研究事業 【経済局(12,500 千円)】

[その他関連する動き]

- ・札幌市障がい者保健福祉計画など関連計画の改定に向けた取組

《現状と方向性》

新たに健康サービス産業、福祉分野の共同研究事業が始まり、徐々に、両分野での産業振興が進められてきている。今後は、健康・福祉分野での新たなビジネスモデルを数多く創出するとともに、バイオ等を含む健康関連企業の集積を図る必要がある。

横断的戦略

■ 競争力を高めるための付加価値の創出

★主な事業

- ・企業移転支援事業 【経済局(51,000 千円)】

[その他関連する動き]

- ・「ものづくり振興戦略」の策定に向けた取組

■ 産業を支える人づくりと地域コミュニティづくりの推進

★主な事業

- ・ソーシャルビジネス育成事業 【経済局(3,000 千円)】

■ グローバル化への対応と販路拡大の推進

★主な事業

- ・食品輸出活性化支援事業 【経済局(35,953 千円)】

■ 創造性を活かした札幌らしい魅力の発揮

★主な事業

- ・札幌魅力産業調査事業 【経済局(18,428 千円)】
- ・映像コンテンツ販路拡大事業 【経済局(16,000 千円)】

[その他関連する動き]

- ・ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟申請に向けた動き

《現状と方向性》

「創造性を活かした札幌らしい魅力の発揮」では、札幌に優位性のあるスポーツ分野や音楽など芸術分野については、これまであまり産業と連動した取組は進められていなかった。今後は、本年度実施する調査事業の結果を通して、これらの分野についての新たなビジネスモデルを創出するなど、産業の視点を十分に取り入れることが必要である。

中小企業の経営革新と基盤強化

■ 経営革新と創業の促進

■ 多様な人材の確保と育成

■ 融資制度と経営アドバイスの充実

★主な事業

- ・札幌みらい資金貸付金 【経済局(4,526,500 千円)】
- ・職業能力開発サポート事業 【経済局(48,000 千円)】
- ・企業向け若年層雇用安定助成金事業 【経済局(47,100 千円)】

[その他関連する動き]

- ・地域雇用創造推進事業(パッケージ事業)の採択

《現状と方向性》

中小企業支援としては、新たな融資制度である「札幌みらい資金」の創設など、ビジョンの重点分野を意識した制度構築を進めている。また、若年層向けの雇用創出事業、就業を目的とした人材育成事業(パッケージ事業)でも、ビジョンの重点分野を意識した事業展開が進められており、今後も着実な取組が必要である。

～ まとめ ～

重点分野のうち食分野、観光分野は、平成 23 年度に新規事業を創設するなど、様々な取組を進めているが、環境分野、健康・福祉分野は、今後、より積極的、実効的な事業展開を図る必要がある。また、横断的戦略としては、文化・スポーツ分野など札幌ならではの魅力を活かした産業振興の方向性を確立することが必要である。中小企業支援や雇用対策は、ビジョンの重点分野と軌を一にした取組が図られており、引き続き着実な取組が必要である。